

現在の県庁舎の課題と対応の方向性

働き方

課題

執務室分散

- 同じ部局内でフロアや棟をまたがった意思疎通等において**非効率な配置**

使いにくい会議室

- 職員意識調査の結果、**58%の職員が会議室の数に不満**
- 事務室的な長期利用や未利用となった会議室への解除対応等の**会議室の非効率的な運用**

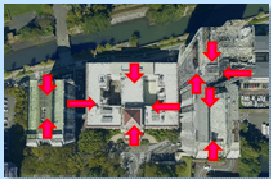
空調による執務環境への不満

- 職員意識調査の結果、**53%の職員が室温管理の数に不満**
- 全館空調のため、休日・時間外等の**空調運転の細やかな対応が困難**

課題

セキュリティの脆弱性

- 本庁舎4棟で20箇所の出入口が存在し、**自由な出入りが可能**
- 執務室と来庁者の入室可能なエリアとの境界が曖昧なため、**情報漏えいのリスクが高い**



出所：VIRTUAL SHIZUOKA

ダイバーシティへの対応

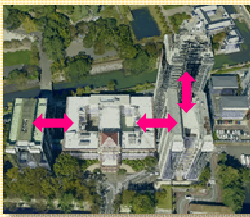
- 県庁舎の各館は、増築された建物群であり、各館に段差が存在するなど、**ユニバーサルデザイン**の概念に対応困難



課題

複雑な動線

- 出入口が多数あり、各棟が渡り廊下によって接続されているため、**来庁者にとって分かり難い動線**となっている。



出所：VIRTUAL SHIZUOKA

方向性

- **ユニバーサルレイアウト**を採用し、レイアウトを標準化することにより組織改正等に柔軟に対応
- **DX**を進め、県民サービスの向上と併せ、業務効率の向上を図る。
- 時間帯やエリアが**フレキシビリティ**に対応出来る空調システムを導入、職員、来庁者の**ウェルビーイング**向上を図る。
- 新しい働き方を積極的に取り入れるなど職員の**エンゲージメント**向上を図る。



水戸市庁舎 執務室内観

出所：https://www.ribc.or.jp/info/pdf/sprep/sprep116_05.pdf

方向性

- **庁舎機能（BCP）の見直し**を行ない運用面の改善を図る。
- 汚水槽の増設や中央監視室に**防災センターの機能を統合、強化**
- **フェーズフリー**の考え方を導入し、業務継続性を高める。
- **災害時の司令塔**として、**レジリエンス**のある庁舎



水戸市庁舎1階 多目的ホール

課題

災害時の庁舎機能の維持

- 全員参集しての通常業務（空調対応・トイレ機能、ゴミの集積）への対応が困難
- 災害時の**職員帰宅困難者への対応**



防災センターの脆弱性

- 本庁舎設備の監視や制御機能が各館の中央監視室に分散しているため、1箇所で**情報を集約できる防災センターがない**。



既存不適格への対応

- (東館)・非常用エレベータが未設置
- (別館)・エレベータに戸開走行保護装置未設置
- (本館)・排煙設備が不足している。
・防火区画が不成立

防災

県民サービス

中期財政計画を踏まえた財政負担の抑制・平準化

県有施設の修繕費・建替費と合わせて、庁舎の再整備の手法及び時期を検討し、**財政負担を抑制・平準化**させる必要がある。

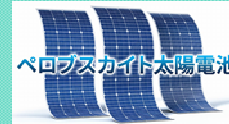
経済性

方向性

- 出入口の縮小や入退庁管理システムの導入や監視カメラの増設を検討し、**ゾーニングによるセキュリティの確保、動線の分離**を実現
- **ダイバーシティ推進**の取組みにより、来庁者の利便性向上を実現
- 複雑な動線の解消については、建替による再配置が必要となる。
- **DX**を進め、県民サービスの向上と共に、業務効率の向上を図る。
→来なくても良い環境整備

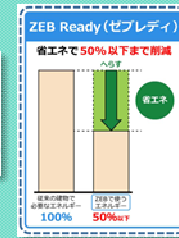
方向性

- **ZEB化**の検討や省エネルギーと快適な執務環境、自然エネルギーを活用した**パッシブデザイン**※の導入を検討
- 改修による省エネルギー対策には限界がある。
- **エンボディットカーボン**※の削減や省資源・廃棄物の削減による**サーキュラエコノミー**の形成



ペロブスカイト太陽電池

※パッシブデザイン：機械に頼らず自然エネルギーを利用する設計技術
※エンボディットカーボン：建築物の建設・修繕・解体時に排出するCO2

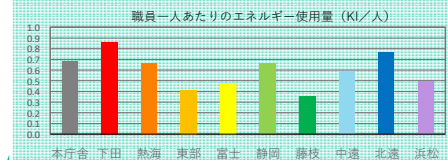


出所：県有建築物ZEB化設計指針

課題

環境対応（地球温暖化）

- 地球温暖化の影響を受け、空調運転による執務環境の確保の重要性が高まっている。
- 快適な執務環境確保と脱炭素化に向けた環境課題との両面への対応、**激甚化する災害対応**時の空調運転などの課題がある。



ニーズに合わない駐車場

- 現在の**青葉駐車場**には**EV用の充電設備が設置出来ない**。

- 高さ1.55m、重量1.7t以下の制限があり、現在の車両サイズに不適合
→軽ハイトワゴン、ミニバン等は入庫不可



環境

当面の対応

セキュリティの脆弱性

- 監視カメラや、電子職員証による出退管理の導入

使いにくい会議室

- 什器の補充や予約システムの改修

災害時の庁舎機能の維持

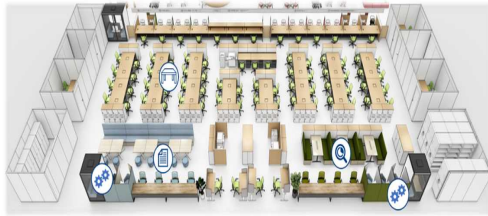
- BCPの見直し等による運用面での改善

ダイバーシティへの対応

- 費用対効果を踏まえ、出来ることから実現

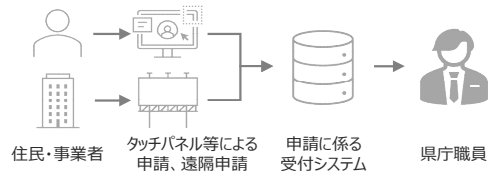
求められる庁舎の役割

1. パーチャルの良さを活かした、**時間や場所を選択できる働き方**の実現
2. リアルの良さを活かした、**コミュニケーションの中で新たな発想**を生み出す働き方の実現
3. 各職員の立場や事情、能力を踏まえた、健康的かつ**誰もが働きやすい環境**の構築



ユニバーサルレイアウトの例

1. **フロントヤード・バックヤードの改革**による県民が時間・空間を問わず享受できるサービスの提供



2. **進展する技術を活用**した、住民の利便性向上を実現する「**プッシュ型**」のサービス



3. 県民サービスのカタチを共創するプラットフォームの維持・構築

働きやすい職場環境を提供する庁舎

働く「場所」を、職員の立場、事情に応じて選択でき、多様な人材が県政を支える庁舎

災害から県民・県土を守る庁舎

災害時の司令塔として、安全性、拠点性、業務継続性を備えたレジリエンスのある庁舎

効率的で長寿命な庁舎

将来変動を見据えた「**フレキシビリティ**」とLCC低減のための経済性を考慮した庁舎

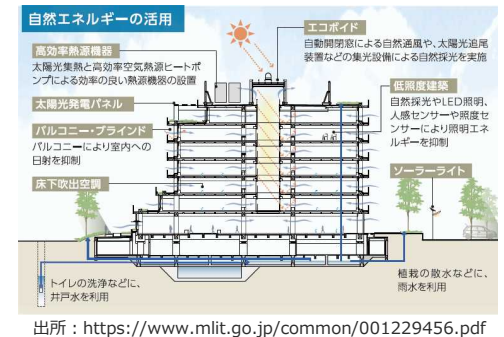
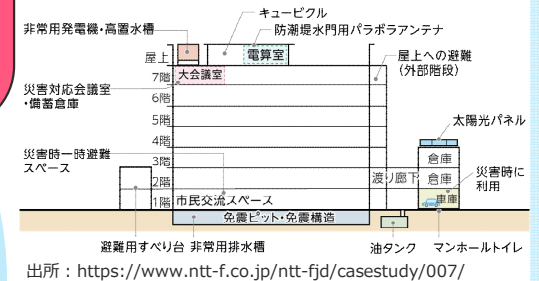
県民が利用しやすく親しまれる庁舎

時間・空間を問わず、利便性の高い県民サービスが共創・維持される庁舎

環境・まちづくりに貢献する庁舎

県内自治体を牽引する環境・経済に配慮したエコフレンドリーな庁舎

1. **充実した防災機能**により地域の安全・安心を支えるレジリエンスのある庁舎
2. **多様な主体との連携**による災害等リスクマネジメントに優れた機動力のある庁舎



1. **自然環境を活かし、共生**するカーボンニュートラルの実現に貢献する庁舎
2. **交流、創造拠点**としてまちづくりに貢献する庁舎

再整備における留意点

財政負担の抑制・平準化

中期財政計画(令和7年度～令和16年度)を踏まえ、庁舎の再整備にあたっては、費用対効果の観点から**効率的な手法及び時期**を検討し、**財政負担を抑制・平準化**させ、県有施設の全体最適を図る必要がある。

歴史的建造物（本館）の保全

登録有形文化財となっているため、**工事には制約があり追加の費用や期間が長期化**する恐れがある。

駐車場の確保

静岡市駐車場附置義務条例により**300台の駐車スペース**を設ける必要がある（再整備中であっても確保の必要がある）。

敷地の狭隘

現在の県庁敷地（静岡市葵区追手町9-6）は、都市計画において、「**一団地の官公庁施設（追手町団地）（建蔽率）**」及び「**特定街区（追手町地区）（容積率）**」の指定がされており、**建蔽率等の制限**がある（現状県単体では超過）。